

平成29年1月 斐伊川水系水質情報

平成29年1月(宍道湖:19日・中海:25日採水)				単位:mg/l(Chl-a: μg/l)						
項目	層	S-3(宍道湖湖心)			N-6(中海湖心)			米子湾中央部		
COD	全層	3.4	△	やや低い	2.5	○	良好	3.4	△	平年並み
全窒素	上層	0.52	△	平年並み	0.42	△	平年並み	0.63	△	平年並み
全リン	上層	0.030	○	良好	0.024	○	良好	0.040	△	平年並み
Chl-a	上層	11	△	平年並み	4.8	△	平年並み	18	△	平年並み
塩化物イオン	上層	1,500	△	平年並み	7,680	△	平年並み	5,560	○	やや低い
	下層	2,000	△	平年並み	13,600	△	平年並み	7,840	○	やや低い
溶存酸素	上層	15.2			11.3			13.5		
	下層	12.6			6.7			10.2		

前月との比較		宍道湖湖心		中海湖心		米子湾中央部	
項目	層	前月	前月と比較して	前月	前月と比較して	前月	前月と比較して
COD	全層	4.1	やや下降	3.2	やや下降	4.2	やや下降
全窒素	上層	0.34	上昇	0.29	上昇	0.41	やや上昇
全リン	上層	0.032	横ばい	0.028	横ばい	0.031	横ばい

宍道湖の透明度は1.4mから1.8mに上昇し、良好。中海の透明度は2.3mから3.9mへ上昇し非常に良好。米子湾の透明度は1.8mから2.5mへ上昇し、良好となっている。

【評価基準】

前年まで過去10年間(平成19年までは5年間とした)のデータについて統計処理を行い、それに基づき下記の表現とする。

1. 水質値について

平均値+標準偏差値の3倍	★	<非常に高い>
平均値+標準偏差値の2倍	☆	<かなり高い>
平均値+標準偏差値	×	<やや高い>
10年間平均値	△	<平年並み>
平均値-標準偏差値		ただし、環境基準値以下の場合<良好>とする。
平均値-標準偏差値の2倍	○	<良好> ただし、環境基準値を下回らない場合は△で<やや低い>とする。
平均値-標準偏差値の3倍	◎	<かなり良好> <かなり低い> (塩化物イオン)

2. 水質変化について

前月値±標準偏差値以上、以下の変化…… 上昇、下降

前月値±標準偏差値の1/2以上、以下の変化…やや上昇、やや下降、横ばい

前月値±標準偏差値の1/2以内の変化…横ばい

注) 平均値±標準偏差値 ……全体のおよそ68.2%

平均値±標準偏差値の2倍…全体のおよそ95.5%

平均値±標準偏差値の3倍…全体のおよそ99.7%